PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

03-108745

(43)Date of publication of application: 08.05.1991

(51)Int.CI.

H01L 23/28

(21)Application number: 01-247546

(71)Applicant: SEIKO E

SEIKO EPSON CORP

(22)Date of filing:

22.09.1989

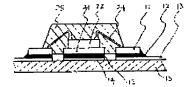
(72)Inventor: **ABE TAKASHI**

(54) SEMICONDUCTOR DEVICE

(57) Abstract:

PURPOSE: To reduce the thermal resistance of a semiconductor device, to keep the configuration of outer terminal leads uniform, to simplify the structure of forming die, to facilitate the handle-ability of a semiconductor device, and to simplify the structure of a package by molding only the element mount face of a lead frame and its side face

CONSTITUTION: A semiconductor device wherein a semiconductor element 22 is mounted on a lead frame, connected to lead terminals 11 by wire bonding, and molded with resin 25 comprises a mold of only the mount side of the lead frame and its side face. For example, the IC chip 22 is mounted on the die pad 21 and connected to outer leads 11 with bonding wires 24 so that the resin 25 can mold the die pad 21 and the IC chip mount side and side face of the outer lead 11. Lastly, the outer leads 11 and the die pad 21 are soldered by solder paste 12 to lead patterns 13 on a printed circuit board 15 and to a connection pattern corresponding to the die pad.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japan Patent Office

⑲ 日本国特許庁(JP)

⑪特許出願公開

◎ 公 開 特 許 公 報 (A) 平3-108745

®Int.Cl.⁵

識別記号

庁內整理番号 ...

❷公開 平成3年(1991)5月8日

H 01 L 23/28

J 6412-5F

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

の発明の名称 半導体装置

②特 顧 平1-247546

②出 願 平1(1989)9月22日

伽発明者 阿部 孝詩

長野県諏訪市大和3丁目3番5号 セイコーエブソン株式

会社内

⑪出 願 人 セイコーエブソン株式

東京都新宿区西新宿2丁目4番1号

会社

個代 理 人 弁理士 鈴木 喜三郎 外1名

明 餌 4

1. 発明の名称

半導体接置

2.特許請求の範囲

半導体素子をリードフレームに搭載し、該半 導体業子と各リード端子をワイヤギンディング にて接続し、樹脂でモールドした半導体業子に おいて、リードフレームの、半導体素子搭載類 、及びリードフレームの側面のみをモールドし た事を特徴とする半導体装置。

1. 発明の詳細な説明

[産業上の利用分野]

本発明は半導体装置のパッケージ構造に関する。

「従来の技術」

従来の半導体装置は、第2回に示す様に、ダ

イパット21上に搭載されたIOチップ22は、各リード第子23にポンディングワイヤー24で 観気的接続をとり、樹脂25でモールドしていた 。その後ハングメッキを行ない、リードをフォー ミングした後、外部リード端子26はブリント 菰 板上のパターン27と、ハングリフロー等で、接 続されていた。

[発明が解決しようとする課題]

しかし、前述の従来技術では、半導体装置の熱 抵抗が非常に高いという問題点があった。

すなわち、ICチップから発生した熱は、リード 25及び欄間25を頭じ外部に枚畝される。しか し、従来の半導体装置では樹脂25の周囲は、ブ リント基板15に搭載彼も周囲は大気20で翻ま れている為、熱伝達性が悪く、熱抵抗は非常に高 かった。

又、外部リード縄子26は、曲げ部30、及び 曲け部28の2ヶ所で曲けてからハンダ付する為 外部リテドはたいへん長くなり、リードコブラナ

—287**—**

5/14/02 1:53 PM

特閱平 3-108745(2)

リティー・ペントリード等、バラツキを少なく加 工する事は非常に難しかった。

又、加工した後も、わずかな外部力で容易に変形 し、ハンダ付性が進下した。

さらに、外部リード端子2 8 は、 2 カ所で曲けなければならず、フォーミング金型はたいへん後継になり、高価になった。

本発明は、この様な問題点を解決するもので、 その目的とするところは、半導体装置の熱熱銃を 下げ、外部螺子リードの形状を均一に保ち、さら にフォーミング金製の構造を簡単にする。 X 半導 体装置のハンドリング報を容易にし、収納容易の 程記を簡単にすることにある。

「課題を解決するための手段】

本語明の半導体験能は、半導体業子をリードフレーム に揺餓し、名リード端子とワイキボンディングで接続し、樹脂でモールドした半導体業子において、リードフレームの半導体業子符配面、及び、リードフレームの関節のみをモールドしたこ

第 5 図は本発明の半導体装置のモールド時の説明 図である。 5 1 は上型、 5 2 は下型で平型な面に なっている。 5 5 は上型に設けられたゲートであ る。 モールド成型後、下型とリード間に樹脂が入 って形成されたレジンフラッシュ 5 4 は、ハンダ メッキ前のデフラッシュ工器にて制難させる。

第4回は本発明の他の実施例である。外部館子リード41間の樹脂部42はそのまま残し、リードの保設部として使用してもよい。又、リード断面43は逆台形になる使形成すると、リードの樹脂へのくい込みが確実になり、リード脈が剣能する様なことがなくなる。

第5 図も本発明の他の実施例である。外部端子リードはモールド部が突出しておらず取扱いが非常 に容易である。

[洗明の効果]

以上述べた様に、本発明によれば、リードフレ ームの半導体側及びリードフレームの韓面のみを モールドしたことにより、ダイバットを直接ブリ とな特徴とする。

〔突缩例〕

第1 図は本発明の実施における断面図であって I 0 チップ22はダイバット21上に搭配されて おり外部リード11とポンディングワイヤー24 で接続されている。 税脂25はダイバット21、 及び外部リード11のICテップ搭数網及び側面 のみをモールドしている。 外部リード、 及びダイ バットはハンダベースト12により、 ブリント 板 1 5 上のリードバターン14にハンダ付されている

この様な構成において、ICチップ22から発生した独はダイバット・ハンダ、ブリント基板と直接伝導で伝わる為、熱抵抗は若しく低下する。 さらに、外部リード11には曲げ部がなく、リード乗も短かいため、フォーミング金型は単純で安価でできる。さらにリードコブラナリティー・ペントリード等のバラツキも少ない。

(4)

ント基根にハンダ付でき、半導体機能の熱抵抗を 著しく下げることができる。

さられ、外部メチリードの形状パラツキを少なく することができ、パッケージの取扱いも容易にな り、フォーミング企型のコストも下げることが、 できる。

4.図前の簡単な説明

第1図は本発明の半導体装置の一裏施例を示す 図。

第2図は従来の半導体製鋼を示す説明図。

票 3 図は本発明の半導体装置のモールド時の説 別図。

第4図、第5図は本発明の半導体装置の他の実 施例を示す図。

- 21 # 4 1 1 1
- 2 2 … … … 『 で ヂ ッ ブ
- 11,26……外部舖9一片
- 2 5 … … 一 例 順
- 2 0 … … 火 気

(6)

-- 288---

特別平 3-108745(3)

2 4 … … ポンディングワイヤー

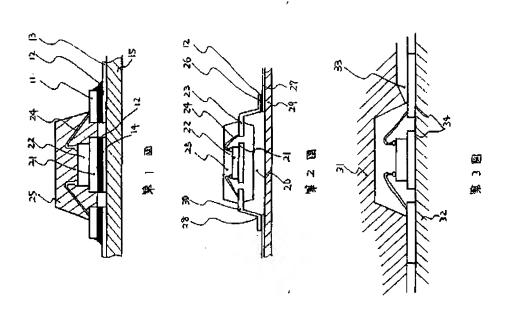
1 4 … … … 接続バターン

15………ブリント悲複

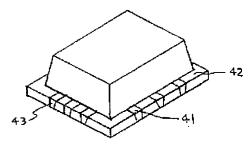
以上

出 願 人 セイコーエアソン株式会社 代理人 弁理士 鈴木喜三郎(他1名)

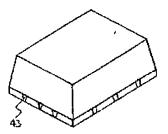
(7)



特開平 3-108745(4)



第 4 🕲



第5图